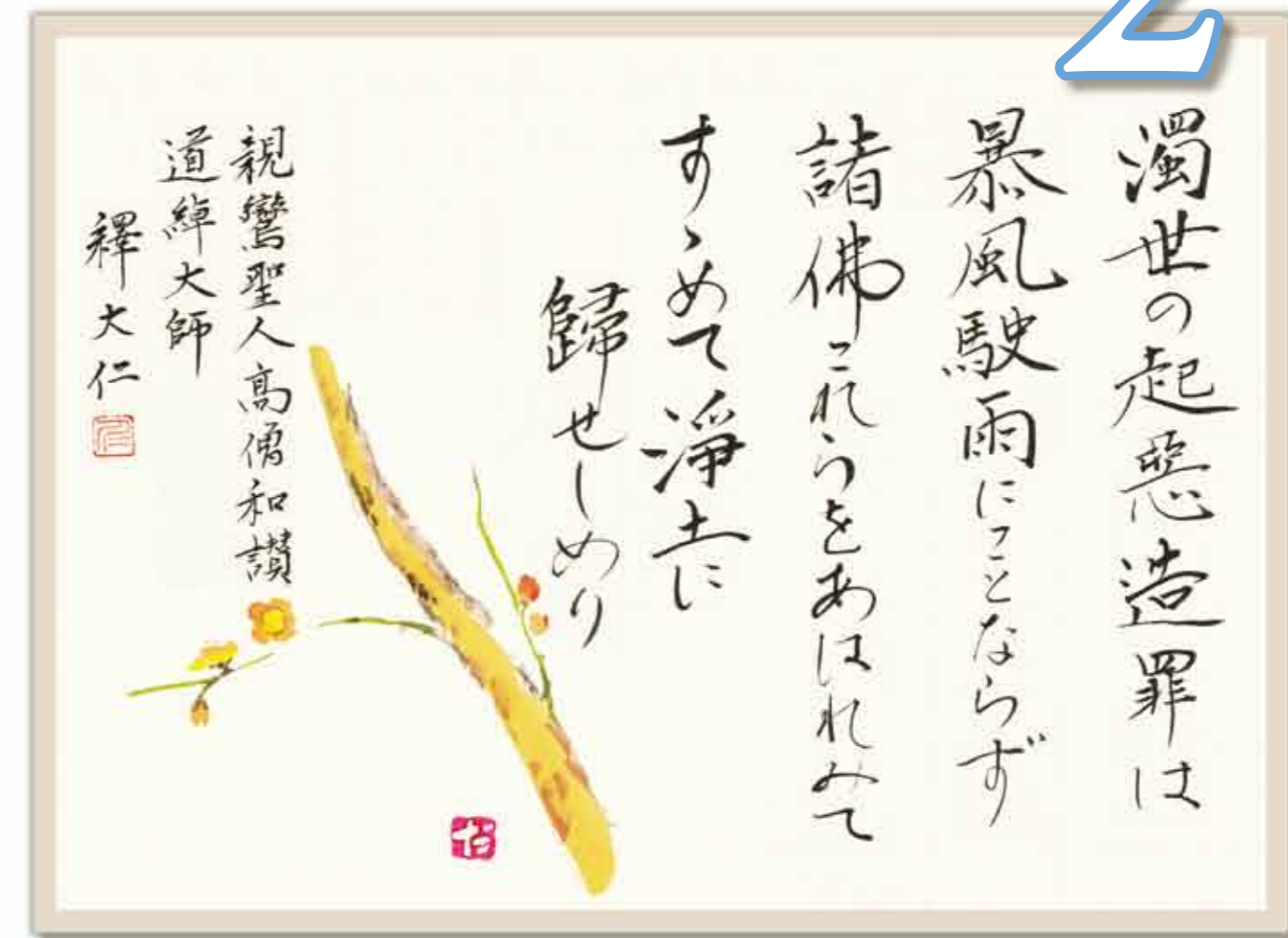
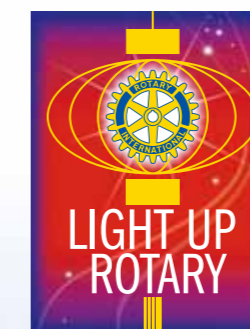
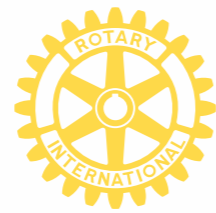


2014-2015 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 2



Rotary
District 2510



はぶあ
ナイス
2月

道綽大師(562年~645年)は、中国唐時代の仏教界で活躍し、よく念仏の教えを一般の人々の間に弘められた。

仏教では正像末の三時に分ける特有の史観を持つが、その末法というのは釈尊の滅後千五百年以上経った末の世を言う。この末法は教えがあっても実際に修行する者もなければ悟るものもない時代である。こんな時代に生まれたのが道綽大師であり、人間性に対する反省が深く、この時代に相応しい行業はないかを求めた。

道綽大師も始めは聖道門を修行し、自ら悟りを開くことに務めるのであるが、石壁の玄中寺に参拝する折曇鸞大師の碑文にあって、自力の聖道門では中々悟りに到達することが難しい事に気が付き、浄土門が凡夫相応の道であることを強調したのであった。

道綽大師は「安樂集」二巻を著し、一切仏教を此土入聖の自力の聖道門と彼土得証の他力の浄土門とに分判して、後者のみが凡夫相応の道であると説いたのである。「安樂集」に「若し起悪造罪を論ぜば、何ぞ暴風駛雨に異ならんや。ここを以て諸仏に勤帰せしめたまふ。」の言葉を親鸞聖人は高僧和讃に引用されたのである。すなわち、末法濁世の罪惡を引き起こす有様は、まるで暴風やにわか雨のようにはげしく突発的であると形容されたのである。人は動物と違って理性を有し、平素は穏やかに行動できるが、ひとたび激情にかられると忽ちに盲目になり、あとは心の台風や集中豪雨で自ら収拾のつかない状態となるのである。ここを憐れに思われた仏様(阿弥陀仏)の本願念仏を称える道を説かれたのが道綽大師の大きな遺徳であった。

又、「円満徳號勸專稱」と正信念仏偈に親鸞さまは讃えられている。(全ての徳が満足している念仏を専らに稱えることを勧められた)

CONTENTS

- ガバナーメッセージ 1
- 世界理解月間に寄せて 2~4
- ガバナー公式訪問便り 5
- 台湾第3490地区との友情交換事業 6~7
- 特集/姉妹クラブのご紹介 8~9
- RI第3700地区 韓国、大邱地域・地区大会のご案内 10
- 米山記念奨学会・ロータリー財団へのご協力への感謝 11
- クラブ紹介/ロータリーニュース 12~13
- 日本のロータリー2020年 新世紀ビジョン 14
- RYLAセミナー2015へのお誘い 15
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り 16
- 2015-16年度 テーマ発表/クラブ例会場・事務所の変更について/地区名簿の訂正について 17
- 新会員のご紹介/訃報/文庫通信 18
- 出席率・会員数 19
- 地区カレンダー(2月・3月) 20

「世界理解月間」に因んで



国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)

丁度110年前1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めての会合を開いた日です。この日はロータリー創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」に指定されています。

この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブプログラムを行うよう要請されています。是非地区内のロータリアンと一緒にクラブ例会に於いて、世界理解と平和について考える月間にして欲しいと願います。是非有意義なプログラムの実施を期待しております。特に例会においてロータリーの歴史について話し合うことも有意義な事と考えています。

世界中の様々な現実を目の辺りにするロータリーのプログラムには多彩なものがあります。皆様も良くご存じでしょうがその幾つかを紹介したいと思います。始めに私自身が一番印象的であるのは、ロータリー青少年交換プログラムです。これは高校生の子女を相互の国で交換するもので、第2510地区では今年度6名の学生を受入、5名の学生を派遣しました。内訳はオーストラリア2名、アメリカ3名、カナダ1名となっています。私の娘も1998-99年度にオーストラリア第3450地区に派遣されました。子供達はこの経験を通じて想像以上のものを得て帰国して活躍しています。

次に「ロータリー平和フェロー」です。これは国際ロータリーが一番力を入れているプログラムだと思います。我が地区ではこれからの取り組みが期待されています。草の根や国際レベルで、平和活動に貢献する人材を育てるロータリー平和フェローシップです。

専門教育を受け、実践的な知識やスキルを身につけたフェローたちは、卒業後に多方面で活躍し、スーダンの難民支援、インドの女性のための雇用機会創出、紛争や災害後の復興支援といったさまざまな活動に携わっています。

次に日本で創設され、既に多くの実績を持つ米山奨学生制度です。このプログラムは毎年地区の米山に対する寄付額によって留学生の割り当てが決まり、先日面接試験が行われました。その制度の特筆すべきことは、世話クラブとカウンセラー制度です。私もカウンセラーをさせて戴きましたが、その時のお付き合いが20年以上過ぎても続いています。

最後に当地区で初めて試行することになったロータリー友情交換です。このプログラムは、ロータリアンとその家族に、他国のロータリアンの家族に滞在する機会を提供するものです。この相互訪問の目的は、国境を越えて個人対個人の交流を行うことによって、国際理解を推進する事です。このプログラムによって、親睦と奉仕へと結びつく地区間の協力関係が育まれます。将にこの国際理解月間には相応しい話題であると思います。実施の詳細は次号でご報告させていただきます。

クラブ会長・幹事さんにはインフルエンザが流行していますのでうがいと手洗いで健やかにご活躍を念じています。

世界理解月間に寄せて

地区国際奉仕委員会
委員長 松原 重俊(砂川RC)



日頃から地区国際奉仕活動にご理解とご協力を頂いておりますことにお礼と感謝申し上げます。世界理解月間に寄せて、今年度事業、検証ツアーそして地区国際奉仕活動について述べさせていただきます。

今年度地区国際奉仕としての実施事業は、タイ国3地区からの事業提案をもとに3地区の実情に応じたモデルプランを作成。当地区内各クラブに事業参加をお願いしたところ、36にも及ぶクラブから事業への参加申請を頂きました。参加頂いたクラブの皆様にはお礼を申し上げます。

参加クラブ

- 第1グループ：留萌RC、深川RC
- 第2グループ：赤平RC、砂川RC、滝川RC
- 第3グループ：岩見沢東RC、江別RC、岩見沢RC、美唄RC、栗山RC、当別RC
- 第4グループ：札幌北RC、札幌はまなすRC、札幌手稲RC
- 第5グループ：札幌東RC、札幌清田RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC
- 第6グループ：小樽RC、倶知安RC、蘭越RC、余市RC
- 第7グループ：千歳セントラルRC、恵庭RC
- 第8グループ：三石RC、様似RC、静内RC
- 第9グループ：伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC
- 第10グループ：函館RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC

実施事業

A. 第3340地区タイ・ノンカイ

- ロイヤルキングスクール・スキルトレーニング事業
(地区財団GG申請中)
留萌RC、深川RC、砂川RC、赤平RC、滝川RC、岩見沢東RC、江別RC、岩見沢RC、美唄RC、栗山RC、当別RC、札幌北RC、札幌はまなすRC、札幌手稲RC、札幌清田RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC、札幌東RC、小樽RC、倶知安RC、蘭越RC、余市RC、恵庭RC、千歳セントラルRC、三石RC、静内RC、様似RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、函館RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC

●奨学金事業 (Good Student)

- 砂川RC、岩見沢東RC、札幌清田RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC、倶知安RC、蘭越RC、余市RC、三石RC、静内RC、様似RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、函館RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、札幌南RC

B. 第3350地区タイ・アムナットチャロエン

- クリーンウォーター事業
札幌南RC、札幌東RC、留萌RC、深川RC、砂川RC、静内RC、赤平RC、美唄RC、栗山RC、小樽RC

●医療機器事業 (地区財団GG申請中)

C. 第3360地区タイ・チェンマイ

- クリーンウォーター事業
滝川RC、岩見沢RC、江別RC、当別RC、札幌北RC、札幌はまなすRC、札幌手稲RC、三石RC、様似RC、千歳セントラルRC
- 図書館事業
恵庭RC(45周年事業)

これらの事業は、各クラブ・当地区・タイ国パートナークラブによる事業、地区ロータリー財団の地区補助金、グローバル・グラント(GG)を利用した事業によって実施されるものです。

検証ツアーは、11月29日(土)～12月3日(水)の5日間の日程でタイ国3地区(第3360地区チェンマイ、第3340地区ノンカイ、第3350地区アムナットチャロエン)を訪問いたしました。羽部大仁ガバナー、遠藤秀雄財団委員長(PG)はじめ27名が千歳からの直行便でバンコクに向かい、着後、第1の訪問地チェンマイへ向かう航空機へ乗り換えました。



翌日、ランナチェンマイRCの皆様と第1の訪問校 Wat pa paeng school(371名)でクリーンウォーター事業の検証。2校目は、Wat Ron Or school(295名)を訪問し、クリーンウォーター事業とともに恵庭RC45周年事業の一つ図書館事業を検証しました。図書館は、手作りの大変温かい雰囲気子ども達の将来にとって、なくてはならない物になるでしょう。



検証も無事終え空路にてノンカイへ移動。12月1日早朝から、何らかの理由で親のいない子ども達が学び生活している職業訓練支援事業校のロイヤルキングスクールへ向かいました。技能訓練教室設置予定場所の確認と完成案の説明後、何か良い事をした20名の子に対して奨学金事業(Good Student)、千羽鶴の贈呈、地区大会青少年並行プログラム時の歌のプレゼント(DVD)と子ども達と一緒に鶴を折るなど、時間を忘れるような大変楽しい一時でした。



2日の早朝、貧困、水問題、医療問題を抱える貧しい地域のアムナットチャロエン県へ向かい、Baan Tam Tae Schoolを訪問。昨年度、第9グループの皆様と地区補助金を利用した大変充実した設備の図書館です。2校目は、ウボンラチャタニ県Phai Yai Sueksa Schoolのクリーンウォーター事業を検証しました。全ての検証も無事終え、空路にてバンコクへ移動、夜中の便で千歳へ向かい3日の朝、無事到着しました。

今回の検証ツアーでは、千羽鶴を届けたいという出村青少年奉仕委員長の発案で、地区大会青少年並行プログラムに参加頂いた青少年交換学生、米山奨学生、ローターアクト、インターアクターの皆様から頂いた沢山の折り鶴を持参し、皆様の温かい真心を届けるべく、訪問校すべてにお渡ししてまいりました。ご協力頂いた皆様に心から感謝いたします。



そして、現在申請中の地区ロータリー財団GGを利用して、タイ東北部ノンカイでの職業訓練支援事業校を訪問する事も目的の一つでした。この事業は、10年以上に渡って各クラブの皆様の温かいご支援によって、タイ国3地区のロータリアンの皆様と共に築いてきた信頼関係によって生まれた事業です。子ども達の将来に少しでも役立てるような、手に職をつける事を目的とした、Skill Training Project職業訓練



支援事業です。洋裁とお菓子などの専門職の方を講師にお迎えし、子ども達の明るい未来のために有意義な事業になるよう準備を進めているところです。



今後とも皆様の温かいご支援とともに、地区国際奉仕事業にご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



/ガ/バ/ナ/ー/公/式/訪/問/便/り/

恵庭ロータリークラブ 11月5日(水)

11月5日(水)、ガバナー公式訪問が行われました。羽部ガバナー、菊池ガバナー補佐、北川地区幹事をお迎えし会長・幹事懇談会が始まり、大変和やかな雰囲気の中で有意義な会議を行う事が出来ました。その後クラブ協議会に移り、各委員長より今年度の事業計画並びに方針を発表致しました。終了後はガバナー、ガバナー補佐、地区幹事を囲んでの昼食をとり、通常通り例会へと移りました。羽部ガバナーより今年度のテーマ「ロータリーに輝きを」について、地区目標について等のご講演を頂きました。大変分かりやすく、ユーモアを交えた講演の内容に、会員全員が時間を忘れ聞き入っていました。また、第1回目の米山功労者となりました会員への表彰状をガバナーより授与していただき、より重みのある表彰となりました。羽部ガバナーを始め、菊池ガバナー補佐、北川地区幹事には、お忙しい中当クラブを訪問して頂き誠に有り難うございました。失礼も多々あったかと思いますが、ガバナーよりたくさんのお褒めの言葉と激励を頂戴し、今後のロータリー活動に益々力を入れて参りたいと思ひました。これからも何卒宜しくお願い申し上げます。



芦別ロータリークラブ 11月6日(木)

羽部ガバナーに同行させていただき、武藤ガバナー補佐と共に芦別RCを訪問しました。早速、芦別ロータリークラブが創立10周年に造成した「ロータリーの森」を見学させていただきました。東京ドームに匹敵する敷地に3,000本以上の桜や落葉松など数十種類の樹を植樹しているとのことでした。午前11時からのクラブ協議会では、物故会員の追悼例会を会員の寺院において開催された旨、赤平RCとの合同例会の開催や学生への模擬面接を実施、芦別みどり保育園の園児との交流会では、65歳以上の会員の写真を元に「似顔絵」を子供達に書き、「そっくり」と会員は満足された素晴らしい楽しい機会となった取組が紹介されました。午後0時15分からの例会ではロータリーソングの指揮を担当された女性会員から「元気よく!」との温かい掛け声にも温まり和やかに例会が進められました。私事ですが、芦別は私の生まれ故郷。故郷での例会を味わって帰りました。芦別RCの皆様、大変お世話になりました。



(同行 地区幹事: 大作佳範)

札幌ロータリークラブ 11月19日(水)

羽部ガバナー、出口ガバナー補佐、勝木紀昭会長・武部幸紀幹事出席のもと、会長・幹事懇談会が始まりました。出口ガバナー補佐の司会で進行されました。その中で勝木会長から、札幌クラブの現在会員は127名で、そのうち3分の1が転勤族の会員で、短期間1から3年で交代される方が多いとお話でした。その後クラブ協議会に進み、武部幹事の司会でスムーズに進行し、勝木会長が今年は例会の卓話をテーマ別に8回シリーズで行っているとの報告がありました。若い人と語ろう会が年に3回くらい開かれている、又毎年小学生を対象とした、5色百人一首が約100人位の参加で毎年行われているとの報告がなされ、さらに各委員会から今年の委員会活動についての報告がありました。12時30分からの例会では、約20分の時間で羽部ガバナーがRIのテーマの説明をされ、更にガバナーは伝教大師「最澄」の「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり」社会の一隅にいながら社会を照らす生活をする、その人こそなくてはならない国宝であると、ユーモアを交え話をされました。



(同行 地区幹事: 田澤泰明)

台湾第3490地区との友情交換事業 ～感動と涙の6日間～

去る2015年1月10日～15日の6日間、国際ロータリー第3490地区台湾の友情交換チームが来道されました。団員は楊明炎地区友情交換委員長他総勢11名、小樽、札幌、深川、長沼を訪問され多くの思い出を作りロータリーの友情を更に深めました。

1月12日は当地区と致しまして歓迎晩餐会をロイトン札幌にて開催「鏡割、福笑いや羽子板のお正月遊び、日本舞踊等」の日本の伝統文化を共に楽しみ、最後には震災時の台湾からの支援へのお礼の気持ちを込めて「涙そうそう」を合唱し、忘れられない楽しいひと時となりました。また、小樽ではニッカウイスキー等の見学やガラス工芸作り、深川では餅つきや抹茶体験と雪あそび、長沼では地元製品のオークション等、各地域の特色に応じた温かいおもてなしを頂き、各クラブの皆さんとの交流を深め思い出に残る楽しい時間を共に過ごしました。

全ての行程で天気にも恵まれ、新千歳空港から帰路に着く際には、楽しかった思い出、心動かされた場面等を思い出し、名残惜しさに皆涙しておりました。当地区では初めて試みた友情交換事業の挑戦でしたが、このプログラムの素晴らしさ実感することのできる友情交換受入となりました。

全ての行程にて御尽力頂きました羽部ガバナー、嵯峨エレクト、丸山パストガバナー、細川パストガバナー、田澤代表幹事他地区幹事の皆様、台湾第3490地区友情交換実行委員(奉仕プロジェクト委員)の皆様、通訳の役割までしてくださった洪俊傑氏、そして、小樽、深川、長沼の各ロータリークラブの皆様がこの場をお借りして深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

いよいよ3月には当地区よりの訪問です。引き続き良いプログラムを実施していきたいと思っておりますので、皆様の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。



スケジュール

日数	日時	都市名	時間	交通機関	行程
1	1月10日(土)	台北(桃園) 千歳空港着 ☆	09:30 14:05 15:00 16:30 17:45 18:00	BR116 バス	エバ航空にて台北より千歳空港へ 奉仕P委員会出迎え担当 千歳空港出発 慧林寺 着 慧林寺 発 ジャスマック 入浴 実行委員会メンバー
2	1月11日(日)	朝食 慧林寺 ※慧林寺 発 ※小樽 着 ※各ステイ先へ	09:30 11:00 13:30 18:00		運河・小樽RC 出迎え～自由時間1時間 北海道ワイン・ニッカ工場見学 小樽 ホームステイ
3	1月12日(月)	各ステイ先で朝食 各ステイ先発 札幌 着	09:30～10:00 12:30～13:20 15:00 18:00		ステイ先～小樽観光※10時光合金製作所(株)P 小樽RCの会員と昼食～小樽発13:30 ロイトン札幌着～自由時間 ☆2510 地区歓迎会ロイトン ロイトン札幌泊
4	1月13日(火)	朝食 ホテルにて各自 ※ ※札幌 着 発 深川 着 歓迎夕食会 ※歓迎会終了	10:00 12:00 18:30～20:00	→	ロイトン札幌 発～深川 歓迎会12:30～終了後大國神社へ抹茶体験等 希望者2次会～それぞれの家へ深川ホームステイ
5	1月14日(水)	各自 朝食 各ステイ先発 雪体験、道の駅へ 深川市内 昼食 長沼に向け出発 長沼温泉 着 歓迎会 終了	09:30 10:00 12:30 13:00 15:00 18:00 20:00	→	雪体験等～スノーモービル、そり、カンジキ 長沼へ～ 長沼温泉～ 着 長勝寺 例会終了後、それぞれの家へ 長沼ホームステイ
6	1月15日(木)	朝食 出発 サッポロビール さよならランチ会 ビール工場出発 千歳空港 着 千歳空港 発 台北(桃園) 着	08:15 09:00 10:00 11:00～12:00 12:15 13:10 15:20 19:00	BR115	長勝寺 千歳方面へ 工場見学～ランチ ☆札幌ビール 恵庭工場 見学&さよならランチ ※千歳空港へ向け出発 お見送り～ お疲れ様でした

特集 姉妹クラブのご紹介

姉妹(友好)クラブ締結との活動状況について 札幌モーニングロータリークラブ

2014年7月1日現在、例会一覧表によると国内ロータリークラブで朝に例会を開催しているクラブが全国に11クラブありますが、その内、クラブ名に「モーニングロータリークラブ」を掲げているクラブが、創立順に川口・札幌・青森・旭川・京都モーニングロータリークラブの5クラブあります。

最初は1993年6月に川口・札幌・青森の3クラブで「友好クラブ締結」を交わしたことから始まり、現在、上記の5クラブの間で「姉妹クラブ締結書」を交わしています。「国際ロータリーに加盟する我々モーニングロータリークラブは、ロータリーの綱領並びに四つのテストに基づき親睦と交流を深め更なる奉仕活動を実践、奉仕の理想を達成する。」ことを目的とし、「各クラブ会員が異体同心となり、属する地域社会にて周年行事及び必要に応じ随時事業を実行する。」とし、実践してきています。

今後の共同事業のあり方については改めて協議を要する時期を迎えていますが、周年式典を開催するに当たって当該各クラブは姉妹クラブ会員のための別途企画をし、歓迎と親睦を図っています。同一年に3クラブの周年記念式典が開催されることが定期的であり、会員同士が顔を合わせる機会を重ねることに相互の友情は深まり、個々の会員間の交流の深まりも見られます。平素の交流としてはクラブ間にクラブ会報(週報)の交換が行われ、それぞれのクラブの日ごろ活動状況を知らせ合うことを今日も継続しています。



姉妹クラブ紹介 白老ロータリークラブ

1983年10月16日、仙台藩元陣屋がとりもつ縁で当クラブは仙台西ロータリークラブ創立20周年を機に姉妹クラブを締結しました。以来隔年相互訪問を続け31年目にあたる今年度は10月6日、7日の両日、仙台地方は前日からの悪天候で急遽予定の便がキャンセルになる一大事が生じたにもかかわらず、「3.11の震災」のときに来ていただいたことが忘れられないので、「何としても水害のお見舞いをしたい。」との思いから、前夜は夜中まで座席の確保にあたり、第51代菅原恵尚会長はじめ奥様も含めての総勢12名の皆さんがおいでくださいました。その大震災の折には、まだ交通網が完全ではない時期にお見舞いにあがったのです。

なんとかその見舞金を活かしたいと両クラブで仙台市社会福祉協議会へ公用車を寄贈しました。仙台西ロータリークラブでも創立40周年記念事業として白老の史跡仙台藩元陣屋に赤松を寄贈くださっております。

今回は観光、ゴルフとそれぞれに分かれ2日間にわたり親睦を深め、観光では会員の名ガイドぶりを褒めいただき、例会日を変更しての夜間移動例会ではご夫人を交えての和気藹々とした中で更に親交を深め、「来年は仙台でお会いしましょう」と約束を交わし空港までお見送りしました。当クラブは田舎の小さなクラブで、仙台西ロータリークラブとは違いも多々ありますが、できる範囲でのお付き合いを続け今日まで至っております。

今後も互いの友情と親睦を深め交流を続けてまいりたいと会員一同願っております。



仙台西ロータリークラブ菅原恵尚会長より水害被害に対する善意のニコニコを受け取る白老ロータリークラブ清水尚昭会長。



九州福岡県行橋ロータリークラブとの友好・経緯 恵庭ロータリークラブ

突然のメールが

2007年(平成19年)10月、我がクラブに1本の電話が着信しました。福岡県行橋RCより、「突然の事ながら友好クラブとして交流を検討してもらえませんか」との内容にて、時の宮内幹事へ打診がありました。その主旨は、「クラブの生いたち〜規模を含め非常に共通点が多く、南国の九州と北国の北海道という地理的な垣根を越え、南北との友好をロータリー精神にて深めたく、恵庭クラブに興味を持ち選択しました」との内容で、正に寝耳に水であり我がクラブへの一方的なラブコールでした。

(行橋RC)	(恵庭RC)
誕生：1963年	1970年
会員数：45名	39名
主活動：交換留学生派遣・受入	交換留学生派遣・受入
地 理：空港より20分	空港より25分
人 口：約7万人	約6万人



辛い経緯

我がクラブとしては、突然の引き合いであって大変とまいを感じました。と申しますのも25年前になりますが、創立20周年記念の年に、オーストラリア・クィーンズランド州のバーリーヘッズRCと友好クラブを締結、華々しく記念事業としてお互いにクラブを訪問。交換留学生が縁で交流がスタートしたものの、2年目からは殆どの交流が途絶え、形式だけの友好関係が続くだけで大いに反省する事となり、以後友好クラブはタブーとなり現在に至っております。しかし今回の行橋RCの窓口の方は非常に熱心で、是非会長と共に、当クラブを訪問したいとの要望があり、電話からもその熱意・心意気を強く感じました。そこで過去の二の舞とならぬ様、理事会・パスト会長会議等々を開催し協議しましたが、意見は五分・五分賛否両論、大いに悩む事となりました。

決断して行動(全員の協力・理解で実行)

会長・幹事が悩んでいる事では前に進まず相手の熱意を考慮し、まずは行動する事を決定。ロータリーの精神を基に「友達クラブとして気軽に交流をスタートさせる」案を持って、行橋RCへ私共のクラブとしての意向を伝えました。その意向が通じたのか、3月になると行橋RCより会長・幹事・会員・交換留学生と共に13名の方が表敬訪問する事となり、急遽クラブとして夫人同伴の歓迎会を開催。心配しておりました懸念は一気に吹き飛び、数年来より交流があった様な錯覚が生まれ、手に手を握り合い想像を超えた歓喜の輪に包まれて、「正にロータリーだから」と参加者一同がそのロータリー共通の精神・心意気を痛感するに至りました。今振り返れば、地区ガバナー補佐が、我がクラブの久野先輩であった事も大きな要因で、幸運が重なった事と思います。

四つのテスト〜言行はこれに照らしてから〜

1. 真実かどうか…行橋クラブ会員一同の熱い想いは、正に真実でした。
2. みんなに公平か…共通の理念、ロータリー交友の意義を肌で感じました。
3. 好意と友情を深めるか…南北の好意と友情の輪が生まれました。
4. みんなのためになるかどうか…将来に向かって必ず役に立つ交流だと信じています。

行橋クラブからの訪問をきっかけにさらに交流が拡大(全員の協力が大きな輪に)

- ☆行橋RC45周年…当クラブ会員・夫人・留学生15名が参加
- ★恵庭RC40周年…行橋RC会員・家族27名が参加
- ☆行橋RC50周年…当クラブ会員・夫人・家族・留学生23名が参加
- ★恵庭RC45周年…行橋RC会員・家族25名が参加予定



ロータリーの友情・熱き思いは永遠に

南と北のクラブとの友好は美談ではありませんが、交流を継続して価値があります。我がクラブは独自に友好クラブ推進委員会を設置し、委員長・副委員長を中川会員と村本会員が交互に交替し、組織として活動しております。村本会員・夫人をはじめ我がクラブ会員が、毎年の様に行橋RCへ訪問し交流を深め、行橋RCからも毎年の様に数名で我がクラブへ訪問されております。重要な事は互いに顔を合わせ交流する事であり、今後10年・20年の時を経ながら、さらに交流を深めロータリー精神を持って距離の垣根を超えて両クラブの伝統として後輩会員が「南と北の友情」を永遠に継続してくれると確信しております。

国際ロータリー3830地区 マカティ・ウエストクラブとの姉妹提携 札幌西ロータリークラブ

当クラブとフィリピンのマカティ・ウエストロータリークラブ(以下MWRCと称する)との交流は1973年度における地区の交流がきっかけと聞いています。当初は、当クラブの熱心な会員が集まって消防車の寄贈を行ったり、自転車を送ったりとかなりの活動を行っており、その結果1982年2月に姉妹クラブの調印を行った。

その後は一部の会員による交流が継続されていたが、2004年の国際ロータリー100周年における推進事業として双子クラブが推奨されたことをきっかけに、当クラブは、その当時会長であった矢橋PDGが先頭となり、MWRCと共にその年に共同事業を行い、双子クラブの申請も行った。その年は、MWRCの創立35周年ということもあり、当クラブから多くの会員が訪問して交流を盛り上げた。100周年の記念に行った共同事業は、マニラ近郊のスラム街に住宅を建設し、地域の環境整備を行うというものであり、MWRCではその後も継続してこの事業に取り組んでいる。

その後、2010年には当クラブの創立50周年の祝賀会を開催し、これにMWRCから大勢の仲間が札幌に来られて、大いに親睦を深めた他、今年度はMWRCの45周年と言うことで、当クラブより再び会員が訪れ交流を深めている。MWRCとの関係を通じて感じたことは、フィリピンと言う開発途上の国におけるロータリー活動の幅広さは、大いに学ぶべきものがあるが、貧富の格差が激しいからこそその活動と思われることも数多く、社会の状況に応じたロータリー活動を、それぞれの地において継続することの意義は、世界のどこにおいても普遍のように思われる。

また、MWRCのメンバー構成に、比較的若い経営者が多く見受けられ、平均年齢が当クラブより10歳以上若いということ、45年の歴史において5名のガバナーを輩出している実績は、MWRCの団結力について賞賛に値するものと感じている。しかしながら、双子クラブとなった当時80名を超える当クラブの会員数が現在では50名そこそこになったように、MWRCもその当時120名以上居た会員が90名ほどに減ると言う状況になっているのは、国を越えた会員増強の課題のようである。



RI第3700地区 韓国、大邱地域・地区大会のご案内

当地区と韓国のRI第3700地区とは、2004年に姉妹提携を結び、文化交流、親善の促進等を行っており、その一環として相互の地区大会に出席して友好親善を深めて参りました。

昨年10月に札幌市で開催された当地区の地区大会には、RI第3700地区総裁河潤守様を始め多数のロータリアンが出席されました。

つきましては目下、この4月25、26日に開催されますRI第3700地区大会に当地区からも表敬訪問し、友好親善を果たすべく計画を立案中であります。皆様のご参加をお待ちしております。

大邱・ソウル2泊3日 予定費用お一人様125,000円

日数	日時	都市名	時間	交通機関	行程	食事		
						朝	昼	夕
1	4月24日(金)	新千歳空港 集合	07:30		大韓航空機にてソウルへ 到着後、係員がソウル駅へご案内致します。 車内にて、幕の内のお弁当 予定時刻(列車は1ヵ月前に発売) 到着後、係員が駅でお迎えてホテルへ ホテル到着後、晩餐会へ 大邱インターブルゴ(別館) 予定 泊	—	お弁当	晩餐会
		ソウル仁川 着	12:00	KE796 専用車				
2	4月25日(土)	ソウル駅 発	14:40	KTX (特席予定) 専用車	午前:大会参加(デグ陸上振興センター予定) 昼食:大会会場にて昼食 午後:ソウルへ 予定時刻(列車は1ヵ月前に発売) ※列車には、係員は乗車しません 到着後、係員が駅でお迎えてホテルへ ソウル コリアナホテル 予定 泊	○	お弁当	—
		東大邱駅 着	16:31					
3	4月26日(日)	ソウル駅 発	14:40	KTX (特席予定) 専用車	午前:大会参加(デグ陸上振興センター予定) 昼食:大会会場にて昼食 午後:ソウルへ 予定時刻(列車は1ヵ月前に発売) ※列車には、係員は乗車しません 到着後、係員が駅でお迎えてホテルへ ソウル コリアナホテル 予定 泊	○	機内食	—
		ホテル 着	16:31					
3	4月26日(日)	ホテル 発	07:00	専用車	早朝:ホテルから空港へ 出発手続きをして、空港で朝食 大韓航空機にて千歳空港へ	○	機内食	—
		ソウル仁川 着	10:10					
3	4月26日(日)	ソウル仁川 発	10:10	KE765	早朝:ホテルから空港へ 出発手続きをして、空港で朝食 大韓航空機にて千歳空港へ	○	機内食	—
		新千歳空港 着	12:55					

※上記は1月10日現在のRI第3700地区の案内に基づいて作成しておりますが変更になる場合もございますので予めご了承下さい。

[上記金額に含まれるもの]

- 航空券代:大韓航空エコノミークラス
- 専用車代:専用バスを利用
- 宿泊費用:大邱、ソウル2泊/2名1室利用
- 食事費用:朝食2回 昼食1回(お弁当) 機内食
- 列車代金:KTXグリーン席指定予定(1ヵ月前発売)
- 現地係員:韓国では現地で係員がご案内致します。
- 空港税他:燃油費用、ソウル空港利用料、新千歳空港利用料

[オプション費用]

- ご希望の方は追加費用で賜りますが、お申込後の手配になりますのでご希望に添えない場合もございます。
- シングル利用をご希望の方はお申し出ください。20,000円追加費用がかかります。
- ビジネスクラス利用をご希望の方はお申し出ください。48,000円追加費用がかかります。
- お問合せ・お申込先:ガバナー事務所までお願い致します。(お申込締切日:2月27日)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

留萌RC	田中 公一	会員(11回)	11月26日
留萌RC	渡部 英次	会員(6回)	11月26日
滝川RC	神部 洋史	会員(11回)	11月28日
滝川RC	小山 進	会員(1回)	11月28日
滝川RC	松橋 和博	会員(3回)	11月28日
滝川RC	三品 優次	会員(2回)	11月28日
滝川RC	向井 辰巳	会員(5回)	11月28日
滝川RC	武田 邦彦	会員(4回)	11月28日
札幌西北RC	渡邊 葉子	会員(2回)	11月28日
室蘭北RC	村井 玄乙	会員(4回)	11月28日
七飯RC	石川 強	会員(2回)	11月 6日
七飯RC	上野 一義	会員(20回)	11月 6日
栗沢RC	岩田 隆	会員(1回)	12月29日
札幌RC	松村 亮一	会員(4回)	12月16日
札幌はまなすRC	野村 勝隆	会員(4回)	12月15日
札幌はまなすRC	坂田 文正	会員(4回)	12月15日
札幌西北RC	小川 眞治	会員(4回)	12月19日
札幌東RC	広瀬 清	会員(8回)	12月29日
札幌東RC	星野 恭亮	会員(4回)	12月26日

米山功労クラブ

七飯RC	6回	11月 6日
------	----	--------

米山功労法人

七飯RC	宝琳寺	12月 1日
------	-----	--------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

深川RC	宮岸 徹二	会員(1回)	11月
深川RC	大西 道祥	会員(4回)	11月
羽幌RC	石川 士史	会員(1回)	11月
留萌RC	渡邊 裕久	会員(1回)	11月
滝川RC	西村 恒則	会員(1回)	11月
美唄RC	伊原 潤司	会員(1回)	11月
札幌RC	松村 亮一	会員(2回)	11月
札幌RC	植田 英隆	会員(1回)	11月
札幌南RC	加藤 正雄	会員(3回)	11月
札幌南RC	榎引 拓禎	会員(1回)	11月
札幌南RC	夏井坂 信幸	会員(2回)	11月
室蘭北RC	三村 博通	会員(2回)	11月
室蘭北RC	廣瀬 禎	会員(2回)	11月
函館RC	松田 俊司	会員(2回)	11月
函館セントラルRC	南 茂樹	会員(2回)	11月
函館セントラルRC	坂下 賢二	会員(6回)	11月
函館東RC	宮崎 あけみ	会員(1回)	11月
函館東RC	宮崎 徳三郎	会員(2回)	11月

ボール・ハリス・フェロー

深川RC	榎田 光章	会員	11月
羽幌RC	原田 正志	会員	11月
留萌RC	西谷 英樹	会員	11月
札幌東RC	出倉 惠隆	会員	11月
札幌南RC	大作 佳範	会員	11月
千歳セントラルRC	尾本 眞二	会員	11月
千歳セントラルRC	武田 伸也	会員	11月
函館東RC	安保 裕一郎	会員	11月
函館東RC	石畑 弘樹	会員	11月

ベネファクター

滝川RC	三品 優次	会員	11月
江別RC	吉田 欣司	会員	11月

函館東RC	戸嶋 浩	会員(3回)	11月
函館東RC	山谷 謙治	会員(1回)	11月
函館東RC	吉村 昭二	会員(5回)	11月
美唄RC	井門 英明	会員(3回)	12月
長沼RC	政角 勝雄	会員(1回)	12月
長沼RC	望月 良典	会員(1回)	12月
長沼RC	森下 伸	会員(1回)	12月
登別RC	伊奈 昭夫	会員(1回)	12月
登別RC	宮武 忠史	会員(1回)	12月
七飯RC	上野 一義	会員(5回)	12月
白老RC	川田 憲秀	会員(2回)	12月
白老RC	手塚 貴志	会員(1回)	12月
苫小牧東RC	古宇田 渉	会員(1回)	12月
苫小牧東RC	小幡 直樹	会員(1回)	12月
苫小牧北RC	廣島 薫	会員(1回)	12月
苫小牧北RC	菊地 芳彦	会員(3回)	12月
苫小牧北RC	田辺 信夫	会員(2回)	12月
苫小牧北RC	矢部 繁	会員(3回)	12月

函館東RC	渡辺 正道	会員	11月
砂川RC	信太 英樹	会員	12月
白老RC	清水 尚昭	会員	12月
白老RC	鈴木 孝義	会員	12月
苫小牧東RC	平田 幸彦	会員	12月
苫小牧東RC	藤森 善子	会員	12月
苫小牧東RC	松井 一秀	会員	12月
苫小牧東RC	内海 雅義	会員	12月
苫小牧北RC	松本 新一	会員	12月

伊達RC	守谷 保夫	会員	12月
------	-------	----	-----

クラブ紹介

千歳 ロータリー クラブ



クラブの沿革と特徴

創立47年目にあたる藤本会長年度は任期の半分が過ぎましたが、会長方針「学びと実践」にそって活動を行っております。ポリオ撲滅に向けた地区ロータリーデー「収穫祭」の実施、それにあわせ「ポール・ハリス・ソサエティ」へ9名の会員と1名の家族の参加など、例年とは違う内容も多く行われています。

当クラブは会員増強が順調に推移している事から会員歴10年未満が約1/3もいることから「炉辺談話」を開催しベテラン会員との融和を進めております。80年計画の一大事業「ロータリーの森林」では保全作業に励み、隔年で相互訪問する姉妹クラブ交流、「神戸南RC訪問」も14名の会員と会長令夫人で10月に行いました。また、月に1度の夜間例会では親睦委員会を中心にとても良いムード作りに努めております。昨年末には更なる会員増強を図るため細則の変更を実施しました。内容は正会員のロータリー歴と年齢により、同一企業内の後継者を正会員として推薦できる事とするものです。推薦した正会員は細則により会費の一部を減免できることとし「生涯ロータリアン」の実現と企業内における「ロータリー精神」の継承を確実なものにできると信じております。

千歳 セントラル ロータリー クラブ



我がクラブは、今年度7月1日現在で会員数31名で平均年齢57.34歳でスタート致しました。1月1日現在会員数35名で平均年齢57.42歳です。6月末日迄には会員数40名を目標にしております。

創立以来、友好クラブとして締結しました静岡県長泉RCとの交流を深め長泉RCが管轄する米山梅吉記念館を新築する際に当時100万円を寄附した事も誇りに思っております。

又、今年度の地区補助金を活用し宮城県岩沼市が進めております震災復興プロジェクト「千年希望の丘」に対し2014年9月に植樹の為の広葉樹の苗木420本分(21万円)相当を寄附し2014年11月1日岩沼市功労者表彰式にて感謝状をいただきました。東日本大震災の支援活動は、今年度を含め4年連続で進めております。

又、今年5月30日(土)には岩沼市において第3回目となる国内最大級の植樹祭が予定されており当クラブからも20名前後で参加をし支援したいと考えておりますので第2510地区からの応援も宜しくお願い致します。

長沼 ロータリー クラブ



「小さな町から世界に目をむけて」のスローガンの下、世界初の女性初代会長を擁してスタートした長沼クラブも、早いもので23年目を迎えました。平均年齢も40歳代から60歳近くになっていきます。さすがに機動能力は衰えましたが心は発足当時のままです。いまだに意気軒昂で積極的に活動を続けています。

我がクラブの特徴であり最大の事業であります国際交流フェスティバルもすっきり定着し、町の年間行事にしっかり組み込まれています。参加していた子供たちも高校生・社会人と成長し、フェスティバルのボランティアとして中心となって活躍するという好循環もできてきました。まさに地域に根差した奉仕活動になったと自負しております。もちろん継続事業であるがゆえに、マンネリ化しているのでは等々の意見も出ますが、やはり継続は力なりということでしょうか。

これからも、将来を担う若者が世界で活躍することができるような人作り、そして地域活性化の一端を担うべく、ロータリーの原点に立ち、会員一丸となって活動を進めていくつもりです。こじんまりでもスパイスの効いたクラブを目指して!

由仁 ロータリー クラブ



由仁町は道央圏空知最南端に位置し、明治10年代から開けた、歴史ある農業を基幹産業とする静かな農村風景の街です。

当クラブの創立は1992年に恵庭ロータリークラブをスポンサーとして結成しました。しかし結成10年を過ぎてから会員の高齢化に伴う退会、景気沈滞に伴い会員増強が思うようにならず、会員数が漸減しながらもロータリー活動に邁進してきました。

少ない会員数ながら、10周年記念事業で植樹した桜の木の管理・補植を続けております。

町内にある老人施設を年の暮れに訪問し、日や餅米を持ち込んで餅つき大会を開催いたしました。この事業は入居老人に大受けで、昔取った杓柄で足元がふらつきながらも杓を取る男性や、餅を丸めるご婦人が参加したりと、賑やかに開催いたしました。

また、昨年は在籍5名会員で意見の違いもありながら交換留学生事業を実施しております。通算で5名の子供達を留学させ、この経験が元で留学先の国の大学に入りのちに国際結婚した子や、英会話が機で十勝支庁の大樹町に嫁いだり、留学した経験が生きて多方面で活躍されている子供達に話を聞くと苦勞した甲斐があると思います。

恵庭 ロータリー クラブ



当クラブは、札幌南ロータリークラブを親クラブとして1970年3月に創立し、今年で45年目を迎えました。今年度は48名でスタートし、職業や年齢も幅広くありながら和気藹々とした和やかな雰囲気のあるクラブです。

創立以来、社会奉仕活動や時代を担う青少年の育成に積極的に力を入れており、地域や社会へ貢献できるよう取り組んでおります。

主な事業としては、地元小学生を対象とした子供相撲大会、中学生を対象としたロータリー旗争奪少年野球大会、高校生を対象とした交換留学生の派遣・受入れ、宅地建物取引業協会千恵支店と共同企画での献血運動、サポロビール主催イベント「おんこ祭」への出店等をそれぞれ継続事業として行なっています。その他、恵庭市の地域と密着しより良い環境を作るため、ルルマップ自然公園に桜の木を植樹しています。

また、当クラブ独自で「歯車基金」を設立しており、おんこ祭出店の収益金や会員からの寄付金を青少年育成のための活動資金として活用できるよう努めています。

北広島 ロータリー クラブ



私たちのロータリークラブは本年度で35周年を迎えます。会員は17名と少人数ではありますが、会員は兄弟のように仲良く、朝、昼、夜間例会と時間帯を変え、会員家族の皆さんも参加できるようにして、夜間例会などは毎回賑やかなものになっています。

当クラブは例会で議論が結構行われますが、いったん決まるとその一致団結力には目をみはるものがあります。一方で、大らかな気風があり気楽に楽しく奉仕活動を行っています。写真は昨年フリーマーケットを地域の皆さん及び恵庭ロータリークラブのご協力を得ながら見よう見まねで行ったものですが、オープン2時間程度で出品の多くが売れてしまいました。参加会員の感想は、フリーマーケットがこんなに楽しいものとは思わなかったとのことでした。

本年6月には当クラブがIMの担当となっています。今からその重責に押しつぶされそうですが、持ち前の一致団結力で乗切って行こうと思っていますので、皆様のご指導ご支援のほど今後ともよろしくお願い申し上げます。

ロータリーニュース 2015年7月からの特別月間について

国際ロータリー理事会は、2014年10月開催の第2回会合で、ロータリーの特別月間を、重点分野を強調するものに変更しました。2015年7月からの特別月間は、次の通りです。

8月: 会員増強・拡大月間	12月: 疾病予防と治療月間	4月: 母子の健康月間
9月: 基本的教育と識字率向上月間	1月: 職業奉仕月間	5月: 青少年奉仕月間
10月: 経済と地域社会の発展月間	2月: 平和と紛争予防/紛争解決月間	6月: ロータリー親睦活動月間
11月: ロータリー財団月間	3月: 水と衛生月間	

なお、10月のもう一つの特別月間「米山月間」は、日本独自に設定しているため、従来通りで変更はありません。

日本のロータリー2020年 新世紀ビジョン ロータリアンの皆さまからのご提言をお願いいたします。

国際ロータリー理事(2013-15年度) 北 清治(浦和東)
国際ロータリー理事(2014-16年度) 杉谷 卓紀(玉名)
ガバナー会議長(2014-15年度) 鈴木 孝雄(東京池袋)

2020年10月20日、東京ロータリークラブが誕生してから100周年を迎えます。すなわち、日本のロータリー100周年という記念すべき年となりました。

現在、「ロータリーの友」「ロータリー文庫」「ロータリー米山記念奨学会」関係者で、ロータリー日本100年史編纂準備委員会がスタートしており、記念誌の全体構想が定まるまでに至っていると伺っています。日本におけるロータリーの草創期から今日までの時代背景を踏まえながら歴史がにつづられることは、将来の日本のロータリーにとって道標として貴重な存在となります。

国際ロータリーは、2005年6月ロータリー発祥の地シカゴで100周年を盛大にお祝いするとともに、『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』を発刊しました。また、将来への指針となる国際ロータリー戦略計画、2017年ロータリー財団100周年に備えて補助金モデルの導入(未来の夢計画)、IT化によるネットワークの構築や情報発信機能の効率化など大きな変化を遂げております。

日本のロータリーも国際ロータリーの一員として、ロータリーの目的を追求しているロータリーの価値観を常に共有し、信頼と発信力のある存在であり続けなければなりません。

このような歴史に向かっている私たち日本のロータリアンは、将来を展望するビジョンを必要としているのではないのでしょうか。日本における奉仕の新世紀にふさわしいビジョンが、ロータリアンの英知を結集して描かれることを願っております。

日本のロータリー100周年に向け、多くのロータリアンから将来の展望について、ご意見をお寄せいただきますよう、お願いいたします。その必要性を強く認識しており、このたび、国際ロータリー理事とガバナー会の議長名をもって日本の全ロータリアンにお呼びかけさせていただいた次第です。

国際ロータリーは、皆さまのクラブが主役であります。クラブまたはロータリアンお一人おひとりの建設的なご提言をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

皆さまからのご提言を基に、2020年奉仕の新世紀に向け、具体的なアクションプランを伴ったビジョン策定に向けて組織対応など準備を整えていく予定であります。

2014年11月吉日

- 締め切り 2015年3月31日
- 提出先 ガバナー会事務局
governorkai@chime.ocn.ne.jp
- 字数 600字以内
(簡潔に、わかりやすい表現にしてください)

お送りいただく際は、下記事項を記入してください。
氏名、地区名、クラブ名、電話番号、
ロータリー役職歴および在籍年数、年齢
(データ分析の資料として活用させていただきます)
お問い合わせは、上記専用メールアドレスまで
お願いします。

RYLAセミナー2015へのお誘い

地区RYLA委員会
委員長 増山 柳(江別西RC)



RYLAは参加者に次のような機会を提供します。

- 指導力を開発します。
- 自己に対する自信を身につけます。
- 様々な問題にさらされ、様々な人々に会う機会を得ます。
- 新しい友人をつくります。
- 職業に関する情報と技能を得ます。
- 地域社会の指導者や顧問と知り合います。

年齢は、18歳から30歳までとし、各クラブの推薦又はロータリアン個人からの推薦も可能です。

参加費用は1名、1万円とします。第2510地区すべてのクラブからの参加を心からお待ちしています。

会場：慧林寺 札幌市豊平区豊平4条8丁目1-2 (TEL 011-811-7624)



RYLAセミナー2015 進行予定

1日目 [5月16日(土)]

- 12:30 … 受付開始
- 13:00 … 開会式
- 13:20 … チーム分け発表
- 13:25 … 休憩
- 13:40 … チーム内でそれぞれ自己紹介
- 14:00 … ボイスカウト指導者によるグループゲーム
- 15:30 … 部屋割り
- 16:10 … 札幌スポット探訪・ルール説明
(和田哲氏監修)
- 16:30 … 玄関集合後 札幌スポット探訪出発
- 18:15 … 札幌スポット探訪
- 18:30 … 和田哲氏の解説
- 19:00 … 夕食開始(グランド居酒屋富士)
- 21:00 … 夕食終了後研修会場へ移動
- 21:30 … 自由時間



2日目 [5月17日(日)]

- 7:00 … 起床
- 8:00 … 朝食
- 9:30 … 休憩
- 10:00 … 札幌スポット探訪・成績発表・表彰
- 10:45 … 講演(原田義之氏)
「輝く瞳に会いに行こう」
ー北タイ貧困救済の実践ー
- 12:15 … 昼食
- 13:15 … グループディスカッション・
出題・趣旨説明
- 13:30 … ディスカッション開始
- 14:30 … グループごとの報告
- 15:00 … 講評(原田義之氏)
- 15:30 … 休憩
- 16:00 … ロータリーからのお知らせ
国際奉仕委員会委員長 松原重俊
- 16:30 … 修了式
- 17:00 … 記念写真撮影・解散



私の雑想ノート No.8

ロータリーを科学する・哲学する

木を見て森を見ず “Some people cannot see the wood for the trees.”
(事物の末梢の部分にこだわりすぎて、本質や全体をとらえられないこと)

- ロータリーのような文化的価値を追求する諸団体は、必ず二つの要素から成り立っています。
- ①最初に優れた思想・哲学を持つ団体であること ②次いで合理的組織管理原則を持つ団体であること
- 優れた思想には人々が集まります。それらの人々のマンパワーを有効に機能させるために組織管理規定が必要になります。
- ロータリーを学ぶには、科学的なアプローチと哲学的なアプローチがあります。ロータリー章典や手続要覧を見てもお分かりの通り、ロータリーは実に多くの歯車から成り立っています。「ロータリーを科学する」とは、それらの歯車を別々に分けてその一つ一つについて正確な知識を得ようとするものです。ただロータリーは年々複雑、細分化しすぎて、部分にとらわれていると相互の連携が難しくなり、木を見て森を見ずの弊害が心配されます。
- もう一つロータリーを知るには、哲学的なアプローチがあります。哲学的なアプローチとは、ロータリー全体が対象です。つまりロータリーとは何かという「原理、本質」を問うことです。哲学とはあらゆるものを徹底的に知り抜こうとするもの。哲学とは「生きること」ではなく「知ること」であり「行動すること」ではなく「思索すること」であります。一言で言えば哲学は「実践」ではなく「理論」であるということです。
- しかしここに問題があります。それはそのような思索の立場は私たちの現実の生活にとっていかなる意味を持つかということです。別の言い方をすれば理論と実践とどちらが尊いかということです。しかしこの問いに対する答えは明瞭です。なぜなら人生において実践ほど尊いもの無いは明らかです。「生きる」とは創造することです。そうして、その創造は実践行動によってのみ実現されるからです。
- しかしながらここにこそ最後の、最大の、問題が潜んでいます。それは「いったい、何を創造するのか」ということです。そうしてこのとき、燦然と輝きだすものこそ、「理論」なのです。哲学を失った理論のない実践、それは盲目的であり、動物的であります。人間の行為は、どこまでも理論と理想の上に展開されねばなりません。そしてその理論の根本をなすものこそ哲学なのです。
- 哲学と科学は、どちらも必要であるとともに、いずれも一方だけでは不十分であります。要するにロータリーを学ぶには哲学的アプローチと科学的アプローチが欠かせません。

バスターガバナー
塚原 房樹
(札幌東RC)



職業奉仕委員会から

ロータリーの本の紹介

「ロータリー・クラブ」—その理論と実践と批判—
小堀 憲助 著

「この書物は、ロータリー・クラブの会員に対してロータリーについての必要な知識を与えるために綴られたものではない。それよりもむしろ、筆者の目的は、ロータリー・クラブに所属していない一般の人たちにロータリー運動のほんとうの姿を理解してもらうことにある…」と冒頭にその作成の意図が書かれているが、一般の人に対してというよりも寧ろロータリーに入会したら必ず読んで欲しい一冊であると思う。ロータリーについては様々な解説書があるが殆どが断片的であるのに対して、この「ロータリー・クラブ」はロータリーを原理的・体系的に解説されていて、ロータリーを俯瞰する際に、これ程まとめられたものはないであろう。

職業奉仕のミニ情報

ロータリー・クラブで頻りに使われる「親睦」というのは、単なるゴルフや飲み会などで相互に親しくなるという感性的親睦という意味だけではなく、ロータリー独自の「精神的(純粹)親睦」でもあることは月信12月号で述べた。

そしてまたロータリーでは「奉仕」という言葉もとてもよく使われている。しかし「奉仕」は英語の「Service」を邦訳したものだが、日本語の「奉仕」とは意味が大きく異なっている。

すなわち「Service」に対応する日本語がないのだ。このことがロータリーを一層理解し難くしている一因だろう。

米山便り

米山奨学生として学んだこと

米山奨学生 崔 鉉鎮
(札幌清田RC)



アンニョンハセヨ。札幌清田RCでお世話になっております崔鉉鎮(チェ・ヒョンジン)と申します。

出身は韓国の青陽(チョンヤン)というところで、唐辛子でとても有名な町です。私の親は米と唐辛子を作っている農家です。

2008年に来日し、現在は北海道大学大学院で日本語と韓国語の発音について研究をしています。日本人のような発音をどうすれば身につけられるだろうというのが研究のきっかけです。

米山奨学生として過ごして来たこの一年間は、私に異文化への理解の大切さを改めて気づかせてくれた時間だったと言えます。長沼町の国際交流フェスティバルの参加をはじめ、旭山動物園の見学、俣知安RCの訪問など、様々な行事を通して色々な経験ができたことは勿論、各分野でご活躍されている様々な方々とも交流ができ、日本と日本人への理解をより深めることができました。

私の将来の夢は教育者です。米山奨学生として学んだ異文化を理解しようとする姿勢の大切さを将来、学生たちに教えていきたいと思っています。

2015-16年度のRIテーマが決まりました。



世界へのプレゼントになろう

1月18日(日)、米国サンディエゴで開催した国際協議会で、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長エレクト(スリランカ、コロomboロータリークラブ会員)が、2015-16年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

この日を「人生で最も大切なとき」と呼んだ会長エレクトは、次のように述べました。「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、「世界へのプレゼント」となることのできる1年です。(中略)このために皆さんに与えられた時間は1年です。この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。(中略)次年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」とプレゼンテーションされました。

詳細は、My Rotary を参照下さい。

〈ロータリーニュースより〉



クラブ例会場・事務所の変更について

長万部RCの例会場・事務所について、2月1日より下記に移転することになりましたので、お知らせ致します。宜しくお願い申し上げます。

新住所：〒045-3521 山越郡長万部町字長万部36番地2
多目的活動センターあつまんべ「長万部商工会」内
電話：01377-2-2270 FAX：01377-2-5257
メールアドレス：marukin1@titan.ocn.ne.jp
※電話番号、FAX番号は変更ございません。

地区名簿の訂正について

2014-15年度地区名簿について、P22の地区青少年交換委員会委員、寺岡壽晃会員と記載がございましたが、寺尾壽晃会員にご訂正下さいますようお願い致します。関係各位に深くお詫び申し上げます。

2015年2月のロータリーレート 1ドル 118円

**新会員の
ご紹介** 敬称略



千歳セントラルRC
大下 和志
入会日:1月6日
職業分類:一般建築工事業



滝川RC
村田 雅彦
入会日:1月15日
職業分類:弁護士



滝川RC
畠山 かおる
入会日:1月15日
職業分類:司法書士

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



津田川 保 会員(小樽銭函RC)
2014年10月30日逝去(享年61歳)
【ロータリー歴】
2012年6月 入会
職業奉仕委員長、
新世代(青少年)副委員長歴任



泉 敬止 会員(滝川RC)
2015年1月8日逝去(享年66歳)
【ロータリー歴】
1991年7月 入会
1999~2000年度 職業奉仕委員長
2006~2007年度 国際奉仕委員長
2011~2012年度 新世代奉仕委員長
2008~2011年度 地区GSE委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)
米山功労者

**文庫
通信**



(328号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

[下記申込先:ロータリー文庫]

◎「2010年から活動を開始するロータリー・コーディネーター」 村上 勘一 2010 1p (D.2540月信)
◎「コーディネーターニュース8月号ーRI戦略計画とコーディネーターの責務」 金杉 誠 2014 1p
◎「ロータリーコーディネーターニュース9月号」 安満 良明 2014 1p (D.2760月信)
◎「コーディネーターニュース10月号ーロータリー公共イメージの推進」 渡辺 敏彦 2014 1p (D.2820月信)
◎「コーディネーターニュース11月号ー『My Rotary』を活用しよう」 高野 孫左エ門 2014 1p (D.2790月信)
◎「全国ロータリー・コーディネーターセミナー」 小船井 修一 2014 6p (D.2500月信)
◎「ロータリーのいろは」 深川 純一 2014 9p (D.2650地区大会記念誌)
◎「ふたつのロータリーモットー」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
◎「ロータリーの魅力」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
◎「国際ロータリーの変質『ロータリー失われた10年』」 新藤 信之 2014 13p

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝日

出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2014.12.31	増減	内女性	
1	深川	3	33	35	2	2	91.92
	羽幌	3	47	47	0	2	75.18
	妹背牛	4	10	12	2	0	85.41
	留萌	3	40	41	1	3	74.60
	小計		130	135	5	7	81.78
2	赤平	4	29	29	0	0	73.00
	芦別	4	37	37	0	2	74.26
	砂川	4	38	38	0	0	92.11
	滝川	3	81	83	2	2	72.00
	小計		185	187	2	4	77.84
3	美唄	4	30	31	1	0	88.96
	江別	3	32	32	0	1	89.58
	江別西	4	25	26	1	3	98.10
	岩見沢	3	74	75	1	0	90.40
4	岩見沢東	3	23	24	1	3	79.79
	栗沢	4	24	22	-2	1	90.80
	栗山	3	24	24	0	4	94.45
	当別	3	25	27	2	0	87.93
	小計		257	261	4	12	90.00
5	札幌	3	112	126	14	0	98.86
	札幌はまなす	3	12	14	2	2	87.13
	札幌北	4	33	34	1	3	90.91
	札幌モーニング	4	40	42	2	0	67.79
6	札幌西	3	50	53	3	7	86.02
	札幌西北	3	31	31	0	3	79.90
	札幌手稲	3	37	37	0	3	92.38
	小計		315	337	22	18	86.14
7	札幌東	4	114	122	8	0	99.16
	札幌清田	3	17	17	0	4	100.00
	札幌幌南	3	57	62	5	5	100.00
	札幌真駒内	4	22	24	2	4	98.90
8	札幌南	4	78	80	2	0	98.77
	札幌大通公園	3	12	13	1	1	64.10
	新札幌	4	22	23	1	2	90.85
	小計		322	341	19	16	93.11
9	岩内	3	18	19	1	1	86.48
	倶知安	4	40	40	0	5	65.00
	小樽	3	73	75	2	0	84.86
	小樽南	4	71	75	4	2	88.19
10	小樽銭函	3	19	19	0	2	80.00
	蘭越	4	11	11	0	0	93.20
	余市	4	45	46	1	4	79.50
	小計		277	285	8	14	82.46

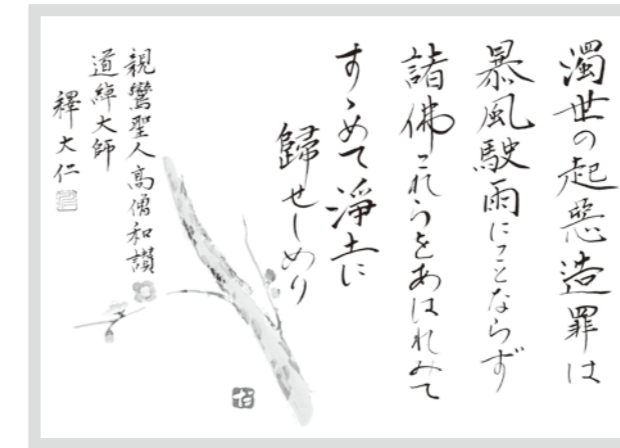
12月出席率・会員増減数

- クラブ数 70クラブ
- 期首会員数 2,497人
- 当月末会員数(女性) 2,578人(118人)
- 増加会員数 81人
- 当月平均出席率 83.31%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2014.12.31	増減	内女性	
7	千歳	4	52	57	5	5	87.78
	千歳セントラル	3	31	34	3	3	68.62
	恵庭	4	46	48	2	3	83.88
	北広島	3	17	17	0	1	88.00
	長沼	4	19	19	0	3	78.00
8	由仁	3	5	6	1	0	71.43
	小計		170	181	11	15	79.62
	えりも	4	20	21	1	1	94.05
	三石	4	15	15	0	2	69.90
	様似	3	24	24	0	1	79.17
9	静内	3	60	63	3	0	84.66
	浦河	3	22	22	0	0	94.20
	小計		141	145	4	4	84.40
	伊達	3	57	56	-1	0	87.94
	室蘭	3	37	35	-2	0	68.52
10	室蘭東	4	35	35	0	0	82.90
	室蘭北	3	40	39	-1	3	72.50
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	8	7	-1	0	82.10
	小計		208	203	-5	4	79.64
11	函館	3	81	84	3	1	81.96
	函館亀田	4	41	41	0	5	91.92
	森	4	39	39	0	0	65.00
	七飯	2	18	17	-1	0	60.00
	長万部	4	9	9	0	0	72.20
12	函館セントラル	4	27	24	-3	2	79.17
	小計		215	214	-1	8	75.04
	江差	3	10	12	2	1	62.00
	函館五稜郭	4	46	49	3	0	90.18
	函館東	3	46	48	2	5	81.62
合計	函館北	4	21	21	0	0	95.24
	北斗	4	14	14	0	0	73.20
	松前	2	4	4	0	0	75.00
	小計		141	148	7	6	79.54
	白老	4	31	32	1	2	82.35
合計	苫小牧	3	48	53	5	2	82.38
	苫小牧東	4	27	27	0	5	86.11
	苫小牧北	3	30	29	-1	1	85.32
	小計		136	141	5	10	84.04
	合計		2,497	2,578	81	118	83.31

地区カレンダー(2月・3月)

2月 世界理解月間		3月 識字率向上月間	
1(日)		1(日)	2015年3月終了米山奨学生歓送会(札幌)
2(月)		2(月)	
3(火)		3(火)	
4(水)	ジャパン・ロータリーデーⅡ in 東京(東京)	4(水)	
5(木)		5(木)	～10日(日) 第2510地区ロータリー友情交換・台湾訪問
6(金)		6(金)	
7(土)	第9グループIM(室蘭)	7(土)	
8(日)		8(日)	
9(月)		9(月)	
10(火)		10(火)	
11(水)	建国記念の日	11(水)	
12(木)		12(木)	
13(金)	小樽南RC創立55周年記念式典(小樽)	13(金)	
14(土)		14(土)	～15(日) 2015-16会長エレクト研修セミナー(岩見沢)
15(日)	第8グループIM(三石) 青少年交換受入学生歓迎会・オリエンテーション(札幌)	15(日)	財団・米山セミナー(岩見沢)
16(月)		16(月)	
17(火)		17(火)	
18(水)		18(水)	
19(木)		19(木)	
20(金)		20(金)	
21(土)	2015-16ガバナー補佐研修セミナー(岩見沢) 2015-16地区チーム研修セミナー(岩見沢)	21(土)	春分の日
22(日)		22(日)	第7回国際ロータリー全国RYLA研究会(東京)
23(月)		23(月)	
24(火)		24(火)	
25(水)		25(水)	
26(木)		26(木)	
27(金)		27(金)	
28(土)	第3グループIM(栗山)	28(土)	第7・8・9・12グループ職業奉仕フォーラム(苫小牧)
		29(日)	第6グループIM(蘭越)
		30(月)	～31(火) 国際ロータリー会員基盤向上セミナー(東京)
		31(火)	



表紙の解説

立春を迎えよいよ春を迎える時節到来とは言いますが、北国ではこれからは寒さの厳しい冬本番です。

全国各地から梅の便りが聞かれる時期となりました。北国にも一日も早い春の便りを願って、梅の絵を表紙に描きました。

2月の表紙の言葉は親鸞聖人のご制作である「高僧和讃」の道綽大師を讃えた詩を載せました。聖人の和讃は浄土和讃、高僧和讃、正像末和讃の三帖に分けてあり毎日の晨朝勤行(おあさじ)で順番(回り口)に詠んでいます。

浄土和讃と高僧和讃は宝治2年(1248年)頃の作と言われています。浄土和讃は118首、高僧和讃は119首、正像末和讃は116首からなっています。

最後の正像末和讃は正嘉元年(1257年)の作と言われています。この時聖人は85歳を過ぎていたかも知れません。

聖人はご自身に厳しい方で、その上もの凄い精神力の強い方であったと想像されます。

内容については、はぶあなイスに紹介させて戴きましたので省略させて戴きます。

羽部